

第4回答申案検討小委員会 会議録

日 時：平成25年12月24日（火）
午後6時30分～9時
会 場：木更津市民総合福祉会館2階教養室

出席者 伊藤委員、榛澤委員、鈴木委員、橋本委員、地曳委員、青木委員、大岩委員
蘇我委員（議長）、石井委員（副議長）（9名）
事務局 石井生涯学習課長、佐々木副主幹、篠田副主幹

開会

進行 それでは、ただいまより第4回木更津市社会教育委員会議答申案検討小委員会を開催いたします。

それでは最初に榛澤委員長から挨拶をお願いいたします。

榛澤委員長 皆さんこんばんは。お疲れのところご苦労さまです。それでは第4回目の検討委員会を開催いたします。

それでは早速議事に入りたいと思います。

議題の1 答申案の作成についてということで、事前に配布されたものも含めて資料（会議録、骨子（素案）、文化財の保護とまちづくり、文化財保護法（抜粋）等）の説明と今日の進め方について、事務局からお願いします。

資料等の説明－事務局（佐々木）

榛澤委員長 ただ今の説明について、何かご質問等ありますでしょうか。

無いようですので、それでは、資料に沿って、（1）答申の構成及び「見出し項目」についての検討、（2）「見出し項目」及び骨子について、順番に協議していきたいと思ひます。

では、最初に（1）答申案の構成と「見出し項目」について、ご意見がありましたらよろしくお願ひします。

事務局 補足ですが、前回の答申では、「はじめに」の前に「まえがき」がありましたが、今回の案では、「はじめに」の中に組み込んであります。また、「キャンプ場の具体的な活用方策」の部分の記述が不十分です。また、その内容を、「2 青少年の自然体験活動の推進方策」「（2）青少年の自然体験活動の今後の推進方策」、で記述する方法と、「3 少年自然の家キャンプ場の今後のあり方」「（2）少年自然の家キャンプ場の今後のあり方」、のハード面の後にソフト面として入れる方法があると思ひますので、ご検討をお願ひしたいと思ひます。

橋本委員 答申の前提の話になってしまいますが、現在の土地の賃貸借契約は30年ということですが、今回もそういうことであれば、ちょっと30年後までイメージできない面があります。5年とか10年やってみて考えると、そういうスパンで検討することはできないのでしょうか。

事務局 当初、そういう考え方もあるのかと考えていましたが、借地借家法によると、期間を定めない契約の場合30年となっており、更新する場合も、相当の期間の契約期間が必要なのだと思ひます。現在、今後のあり方について検討しているわけですが、今後契約をしないということであれば別ですが、契約を更新した後、5年間ぐらいの間に最終的な結論を出すということは可能だと思ひます。ですから、契約期間については切り離して考えていただいた方がよいと思ひます。

橋本委員 今、キャンプ場の開設期間の拡大しようとか、そういう議論になっている訳ですが、ある程度やってみて、再度検討する必要がある場合がある場合があると思ひますが、そこまで考

えなくても良いということですか。

石井委員 当面、現在の議論の結果を答申の中に盛り込めば良いのではないのでしょうか。

榛沢委員長 その他に、ご意見はありませんか。

大岩委員 前回、ちょっと出席できなかったのですが、中世の城跡だということについて、あまり前面に打ち出されていないような感じがするのですが、その辺はどうなのでしょう。

事務局 文化課のお話では、真里谷城址についてはキャンプ場を開設するための発掘調査がされただけで、全体像を正確に説明できる状態にないということでした。文化財としてきちんと位置づけるためには、さらに調査が必要になってきますので、“観光資源”として活用していく等、現時点でできることには限界がある感じがします。

大岩委員 それでは、きちんとした調査ができないとアピールできないということですか。

事務局 現在も行われているように、今わかっている範囲で千畳敷や堀切、土塁等の跡を見学しながら歴史的な背景等を説明するのは可能ですが、復元模型を製作するというようなことは難しいということでした。ですから逆に、「天神台城」等の他の城址や寺院、いっせんぼく等の自然も含めて歴史と文化のエリアとして富来田地区をもっとアピールできるようにきちんとした調査をしていくように提言していくということも、ひとつの方法だと思います。

地曳委員 先ほど事務局から話がありましたが、私も、「2 青少年の自然体験活動の推進方策」「(2) 青少年の自然体験活動の今後の推進方策」、の中で、キャンプ場の活用方策に関する記述をし、さらに「3 少年自然の家キャンプ場の今後のあり方」「(2) 少年自然の家キャンプ場の今後のあり方」、の中に、具体的な内容を盛り込んだらよいと思います。例えば、5 頁に「幼児の時から、親子で外で遊ぶ体験の機会を広げていくことが大切だ」とありますが、キャンプ場での具体的に方策についての記述がないので、その辺を膨らませたほうがよいと思います。

事務局 今回の構成だと、キャンプ場における現在の事業については、「2 青少年の自然体験活動の推進方策」「(1) 青少年の自然体験活動の取組みの現状と課題」「①社会教育における自然体験活動の取組みの現状と課題」の中に入っていますが、「3 少年自然の家キャンプ場の今後のあり方」、の中にも記述(再掲)していくという方法もあると思います。

榛沢委員長 それでは、骨子の内容にふれながら構成(項目)について検討していった方がイメージが湧きやすいと思いますので、骨子の検討に入っていきたいと思いますがいかがでしょうか。最初に「はじめに」についてお願いします。

アンダーラインがひかれているところは、何でしょうか。

事務局 市の教育振興基本計画については、現在まだ策定中なのでアンダーラインを引いてあります。答申より前に出されるとしますので、上位の計画に則するという意味で記述してあります。

石井委員 その箇所ですが、文の結びが「となっています」とありますが、無責任な感じがするので、「です」というように言い切った方が良いのではないのでしょうか。

橋本委員 私もそうと思いますが、文の意味がつながるかどうかが再考をお願いします。

石井委員 表現はともかく、断言する言い方が良いと思います。また、昨年度は、「はじめに」も中に答申の重要なポイントを盛り込むということでしたが、「まえがき」のような内容なので、これで良いのではないのでしょうか。

榛沢委員長 それでは、次の「1 青少年の自然体験活動の意義」について、いかがでしょうか。

「(1) 今なぜ青少年の自然体験活動なのか」の4段目の3行目の“生き抜いていく力”がをを「が」は不要ですね。

橋本委員 同じく1行目の「遭難」は「遭遇」の間違いですね。

蘇我委員 誤字脱字や「てにをは」も含めて検討していきますか。

地曳副委員長 「全体構成」ではあまり意見が出なかったので、骨子文を検討しながら進めましようということですので、それも含めてやっていった方が良いと思います。

事務局 ちょっと言い忘れたのですが、諮問の際に提示した「検討の柱」と今回の骨子（案）で表現を変えた部分があります。今、ご検討いただいている「1 青少年の自然体験活動の意義について」は、「意義と役割」となっていますが、やはり「役割」という言葉はなじまない感じがしますので「意義」だけにさせていただきました。そして、中項目の（2）は「青少年の自然体験活動の意義と効果」という表現にしてあります。

石井委員 2 頁の 4 段目の 2 行目「自分の頭で考え」の後に、「判断する」というような記述が必要だと思います。また、同じく 5 段目の 2 行目の「はぐくむ」をひらがなにしている意味があるのでしょうか。

事務局 「判断し」を追加し、「はぐくむ」は「育む」でお願いします。

榛澤委員長 3 頁の 3 段目の「さまざま」は漢字の箇所もありますがどうなのでしょう。

事務局 検討して、表記はどちらかに統一したいと思います。

地曳副委員長 3 頁の引用の箇所ですが、引用文献等の出典がわかるように統一して表記するようにお願いします。

橋本委員 「（2）青少年の自然体験活動の意義と効果」の章は分量が多いので、当然なことは省略し、もう少し要約してすっきりさせた方が良いでしょう。

事務局 また、（2）の部分と（1）の部分を入れ替えて、答申等で述べられていることに対して「今回の答申ではこう考えます」というようにしても良いと思います。

地曳副委員長 私は、このままで良いと思います。

伊藤委員 私は、構成はこのままで良いと思います。ただ表題が「今なぜ青少年の自然体験活動なのか」になっているので違和感があります。よい言葉が浮かびませんが、「今の子どもたちの現状」がこうだから、自然体験活動が必要なのだ、意義と効果はこうなのだよ、という流れにしていくのは良いと思います。

石井委員 （1）のサブタイトルを「子ども達の現状と課題」にし、「生きる力を育む体験活動」を（2）の表題にして、「（1）今なぜ青少年の自然体験活動なのか～子ども達の現状と課題～（2）「生きる力」を育む体験活動～青少年の自然体験活動の意義と効果～」にしたらどうでしょうか。また、そうした場合、（1）の部分をもう少し加筆した方が良いでしょう。

伊藤委員 「（1）今なぜ青少年の自然体験活動なのか～子ども達の現状と課題～」の中で、現在の子どもの現状と、検討委員会の中で出された意見を「課題」としてもう少し膨らませれば良いのではないのでしょうか。

橋本委員 そうすると、3 頁の 1 段目と 2 段目の文章は、「（1）の現状と課題」に入ることになるのでしょうか。

榛澤委員長 それでは、基本的な構成として、「1 青少年の自然体験活動の意義」については、まず（1）では「子ども達の現状と課題」について、（2）では、これまで出された答申等を参考にして「自然体験活動の意義と効果」について整理する。また、（1）の部分をもう少し膨らませるということで良いですね。

地曳副委員長 私は、個別具体的な内容は「2 青少年の自然体験活動の推進方策」の中で記述した方が良いでしょう。「1 青少年の自然体験活動の意義」のところをあまり膨らませない方が良いでしょうが・・・。

榛澤委員長 それでは、次に、「2 青少年の自然体験活動の推進方策について」に入りたいと思います。

蘇我委員 やはり、この章がメインになると思いますが、全体的にさらっと書かれているので、もう少し具体的に書いていった方が良いでしょう。例えば、5 頁 3 段目 3 行目の「PTA 活動や地域の活動と連携した取り組みが期待されています」とあり、6 段目に「行政が

リーダーシップを発揮し、学校、地域を巻き込み、一過性でなく積重ねの自然体験ができるような仕組みを考えて行くことが大切です」、「当面、公民館を中心に社会教育活動の中で、自然体験活動を充実、発展させていくことが期待されます」ということですが、「行政」というのはどこなのか等、もっと具体的に強い表現で述べていくことが必要だと思います。また、どこが旗振りをするのかということが議論になりましたが、私は公民館が担っていくべきだと思います。そのためには、もっとソフトの面で人的な充実が求められると思いますし、その辺を強調した方が良いと思います。

- 青木委員 4頁3段目の5行目「います」の「い」はいりませんね。
- 榛澤委員長 木更津市子ども会育成連絡協議会は長いので省略した方が良いと思いますが・・・。
- 事務局 「市子連」に省略したいと思います。
- 榛澤委員長 「(1) 青少年の自然体験活動の取組みの現状と課題について」から、順番にやっていきたいと思いますが。
- 石井委員 4頁1段目3行目「青少年育成地区住民会議」は、これで良いのですか。
- 事務局 青少年育成〇〇地区住民会議という名称が一般的ですので、「」(括弧)でくくって表記したいと思います。
- 地曳副委員長 4頁5段目2～3行目「真里谷城址の歴史的環境を生かした事業の開発、指導者が必要になっています」の部分ですが、「事業」は、堅いイメージなので幅を広げるといふ意味合いも含めて「メニュー」に、「開発」は、開発だけでなく「企画・運営・開発」、「指導者」は、まず「事業を推進する事業体(団体・機関)と指導者」というように膨らませてもらいたいと思います。
- 石井委員 「生かす」は、「活かす」という表記もありますが・・・。
- 鈴木委員 同じく1行目「ツリーラインミング」というのは、木登りという意味ですか。
- 事務局 一般的な「木登り」ではなく、木の枝にロープを垂らして、そのロープを使って上上がるスポーツです。これまでもキャンプ場で取り組んだことがあるのですが、そうしたものを恒常的にできるように設備を充実させたいという意味です。
- 橋本委員 「ツリーラインミング」という言葉は、アメリカの団体の名称なので勝手に使用できないかも知れませんが確認をお願いします。「ツリーイング」とか「木登り体験」とかという言い方をしている場合があります。
- 榛澤委員長 次に、「②学校教育における自然体験活動の現状と課題」はいかがでしょうか。
- 地曳副委員長 5頁2段目3行目に市内の小中学校の自然体験活動の記述がありますが、「市外の」というようなコメントが必要ではないですか。
- 事務局 調査した「一覧表」があるので、それを資料として掲載したらどうでしょうか。なお、「②」については、まだ学校教育課に見てもらっていませんが、今後、確認してもらう予定です。同様に、「①」についても、具体的な事例については、調査した公民館等の事例を資料として付けたいと思います。
- 石井委員 5頁3段目3行目「PTA活動や地域の活動と連携した取組みが期待されています」の「期待されています」は、何もやっていない感じがするので、「さらに必要となっています」「望まれます」というような表現の方がよいのではないのでしょうか。
- 地曳副委員長 伊藤先生にちょっとお伺いしたのですが、子ども会というのは学校教育の中ではどのような位置づけですか。PTAとは併記できないのでしょうか
- 伊藤委員 原則として任意参加なので、現状では地域に子ども会がある学校とない学校がありますから、PTAと同列に考えられませんね。
- 地曳副委員長 それでは、子ども会は「地域の活動」に入るということですか。学校を地域で支える団体としてPTAだけでなく、個別な団体名が入ると良いなと思ったのですが。それから、この段落の冒頭が「しかし」で始まっているのはおかしいのではないのでしょうか。
- 石井委員 他にも青少年相談員とか色々あるので「諸団体」ではどうですか。
- 事務局 「しかし」は、「近年」に変えたいと思います。

石井委員 5頁2段目5行目に「教育の森」の記述がありますが、あるのは鎌足小学校と波岡小学校だけですか。

事務局 東清小学校でも椎茸づくりをしているという話を聞いたことがあります、県の「里山保全活動」等とも連携した活動があるかもしれません。

橋本委員 お米づくり・田植えなんかはどうですか。

地曳副委員長 私の知る限り、市内18小学校中5校ぐらいが田植えを実践しています。

伊藤委員 学校教育課にきちんと調べてもらって、小中学校のそうした自然体験活動の資料も掲載した方が良いのではないですか。

榛澤委員長 次に、「(2) 青少年の自然体験活動の今後の推進方策について」は、どうですか。蘇我さん、先ほどの話をもう一度お願いできますか。

蘇我委員 6段目に「当面、公民館を中心に社会教育活動の中で、自然体験活動を充実、発展させていくことが期待されます」ということですが、「当面」という表現はちょっと気になりますね。もっと具体的に強い表現で述べていくことが必要だと思います。また、どこが旗振りをするのかという意味では、私は公民館の重要性をもっとアピールしていった方が良いと思います。

伊藤委員 同じ段落の5行目までは良いとして、その後、「そのためには、生涯学習の中核である公民館が中心となって地域の諸団体と連携しながら定期的な事業を展開していくこと」とかの文言を入れてもらった方が良いと思います。

地曳副委員長 他に担当するセクションがないので何でもかんでも公民館へということになってしまいますが、キャンプ場の活性化も公民館の職員に期待するとなると大変になってしまわないでしょうか。実際に対応してもらう人材としては社会教育主事が一番良いと思うのですが、公民館の位置づけと職員体制の問題もきちんとしなければいけないと思います。

蘇我委員 その通りだと思います。前回の答申の時もそうだったのですが、今回も公民館の大切さと職員体制の充実も盛り込んでいかないといけないと思います。

伊藤委員 「公民館の人的配置も含めて充実していく」というような感じですか。

地曳副委員長 文化課では、今回のような文化財の保全活動等についてはどのような係わりをもってもらえるのでしょうか。従来の公民館の郷土史ボランティアではなく、例えば、真里谷城址を中心としたボランティアの会を立ち上げるとか。

事務局 現在、安西家のガイドボランティアの会がありますが、そうした活動を全市的に広げていきたいという思いはあるそうです。ただ、そうした内容は、「3キャンプ場の今後のあり方」に記述した方が良いでしょう。

伊藤委員 やはり、この「(2)」の部分が一番重要です。この内容を踏まえてキャンプ場の具体的な方策を次の章で述べていくというスタイルが良いのではないのでしょうか。その意味でも、ここの内容をもっと強調していく必要があると思います。

石井委員 5頁5段目2行目に「小学生になってからでは遅い」との表現がありますが、小学生ではもう手遅れというような感じになってしまうと小学生の親は対応できなくなってしまうので、「もっと早い段階」とか「効果的」とかの表現をいれたらどうでしょうか。

橋本委員 実際には、3歳や5歳、10歳のうちに体験しなくてはいけないものがあると思いますが、表現がちょっときついですよね。ただ何が一番問題かということ、今の乳幼児の母子関係は家庭の中で過ごしてしまうということです。家族カプセルの中で完結してしまって、数人の友達ができたとしてもなかなか家の中から出ない。乳幼児期にたくさん外に出る体験をして、その楽しさを実感できないと、後になってそれを習慣にしたりすることが難しくなってきます。だから「小学生では遅い」ということです。でも、それをどう表現したら良いのでしょうか。

石井委員 早い時期から親子で自然にふれさせるということですよ。

橋本委員 乳幼児は、親が連れていかないと外に出られませんから、乳幼児期というのは強調し

てほしいのです。

石井委員 今述べられたように、ここの部分をもう少し膨らませて、「乳幼児の子どもを持つ親への働きかけの大切さ」について、記述した方が良いと思います。また、個の関係だけでなく、団体との関係についてもふれた方がよいと思います。

榛澤委員長 子ども会でも「就学前 3 年間で大切だ」ということで、幼児の加入も進めていて、親子で参加してくれています。

橋本委員 親子が外で遊べるような企画を、もっと公民館でもらえたらありがたいなと思います。乳児の時は公民館の中でも良いですが、幼児になったら親子で外で活動するような企画を是非取り入れてほしいですね。

伊藤委員 公民館では、家庭教育学級等が取り組まれていますよね。

事務局 現在、幼児家庭教育も多くの公民館で実施されており、今お話しされたような活動もされていますので、「(1) ①の現状と課題」の中に、家庭教育学級における取り組みも含めた方が良いでしょう。

橋本委員 また、育児サークルなどでも外遊び等の活動がされていますから、そうした活動にもスポットあてて、もっと広がりを持てるようにした方が良いでしょう。

地曳副委員長 5 頁 4 段目ですが、冒頭の「本市は」を入れるということと、文末は、「重要になると思います」ではなく、「必要です」というような表現にしてほしいと思います。

橋本委員 また、1 行目「豊かな自然に囲まれているにもかかわらず」の後に「子ども達が日常的に」を入れたらどうでしょうか。

榛澤委員長 同じく 1 行目「自然環境が活かされていない現状があります」の「活かす」は「生かす」ですか。

鈴木委員 3 行目「“確かな学力”を備え、心身共に健康で、“生きる力”を身につけた児童生徒」はどこからの引用でしょうか。説明があると良いと思います。

事務局 学校教育「木更津プラン」平成 25 年度の学校教育の重点目標です。

榛澤委員長 次に、「3 少年自然の家キャンプ場のあり方」に入りたいと思います。

石井委員 6 頁 2 段目 2 行目「激しく」ではなく、「著しく」に、3 行目「水銀等」ではなく、「水銀灯」に、4 行目「が、ほとんど早急に」ではなく、「ほとんどが、早急に」に、3 段目 1 行目「賃貸契約」ではなく、「賃貸借契約」に訂正するというところでよろしいでしょうか。

事務局 それで良いと思います。大変申し訳ありませんが、時間がなくなってしまったので、飛んでしまって申し訳ありませんが、まず、「(2) キャンプ場の今後のあり方」の部分の確認をお願いしたいと思います。

石井委員 7 頁 3 段目 1 行目「なくてはならない場所」ではなく、「活用することが望ましい」という表現ではいかがでしょうか。2 行目「少々遠い、不便さが難点ですが、豊かな自然環境にあります」は、何が言いたいのかよくわかりません。「中世の」も、もう少し説明があると良いと思います。9 頁「おわりに」1 行目「“生きる力”を獲得し」とありますが、ちょっと違和感があります。

伊藤委員 「獲得し」は「身につける」ですかね。

榛澤委員長 それでは、本当に時間がなくなってしまったので、今日、全ての項目を検討することができなくなってしまいました。1 月 22 日の社会教育委員会会議の前にもう 1 回検討小委員会を開催することも難しいので、本日検討した部分は修正してもらって、今日検討できなかった部分も含めて社会教育委員会会議の際に全員で検討するというところでよろしいでしょうか。

事務局 最後に、次回の社会教育委員会会議の進め方についてはいかがでしょうか。

榛澤委員長 資料にありますように、これまでの全体の経過報告と、答申の中間報告ということで、本日のように今回の骨子（素案）にそって全員で協議するような方法で行いたいと思

ますのでよろしくお願いいたします。それでは、長時間にわたり熱心なご討議大変ご苦勞さまでした。それでは、以上で第4回答申案検討小委員会を終了いたします。ありがとうございました。